

女性ライダー特化の交通安全講習

チームマリ

女性専用ライディング

スクールを運営するTeam MARI（チームマリ、井形とも代表取締役、東京都港区）は、海外展開の一環として、2025年9月にシンガポールで安全運転講習を初開催した。1988年の設立以来、日本国内で600回以上の講習を実施し、延べ1万7千人超の女性に二輪車の安全運転技術を指導してきた実績を持つ。



国内で培ったノウハウを基盤に「女性が女性に教える」独自メソッドを海外へ展開する。姿勢・視線・操作の連携による無理のない車体コントロールや、低速域の安定操作、危険予知能力の向上を柱に据え、免許取得直後の事故防止を重視した指導を行っている。

講習は政府系教習所会場で2日間開催し、18歳から50代まで計39人が参加した。宗教・文化への配慮や夜間開催への対応、安全管理体制の徹底など、現地環境に適応した運営が特徴だ。受講者の技術向上と安全意識の醸成に加え、女性ライダー同士のコミュニティ形成にもつながっており、現地教習所は女性向け講習の継続実施を決定

「女性が女性に」メソッドを海外にも



この取り組みは、日本の安全運転教育の知見を国際的に共有し、女性の移動の自由と安全の両立を後押しする取り組みとして評価されている。今後もアジアを中心に活動を拡大し、持続可能な交通社会の実現に貢献していく考えだ。

【受賞者コメント】37年に渡る女性ライダーに特化した二輪の安全運転講習活動が海外での開催に繋がり、予想以上の相乗効果を得られ、今回の受賞に至った事を光栄に思います。二輪は、安全に対してライダーの運転技術が占める割合が高いモビリティです。アジア諸国でもライフスタイルとして二輪を楽しむ女性が増え安全意識が高まる中、日本への憧れや信頼を肌で感じました。私達の活動が「クルマを日本の文化にする取組み」の一翼を担えれば幸いです。